

# 100年の大計

## 「本町区画整理」の説明始まる

葛塚本町土地区画整理事業  
計画の説明会が、四月二十五日の夜、中央公民館で行われました。

当日の出席者百七十八人（地権者等は二百八十四人）を前にして、石井市長が、本計画の概要を説明して理解と協力を求めました。

その中で、市長は、本町区画整理事業を進めなければならない理由として、

- 旧市街地周辺は、整然とした区画整理が行われ、住宅地が整備されて人口が急増した。
- 社会情勢は変わり、自動車交通の時代で、これに合わせたまちづくりが要請されている。すでに、旧来の半農半商という時代ではなく

分（川岸区画整理地区を除く）、中町、下町、松ノ町、梅ノ町

○地権者数 二八四人

○施行予定期間 昭和六十五年度

○総事業費 三〇億七、〇四五万円

○内訳 公共施設（道路、公園等）整備費四億五、五三〇万円

物件移転（建物、墓石）等補償費 一三億四、六七六万円

事務費等 二億六、八三九万円

○財源内訳 国庫補助金 十四億〇、六〇〇万円

起債等七億〇、三〇〇万円

一般財源 九億六、一四五万円

合計三〇億七、〇四五万円

○土地利用計画 区画整理をする

道路 三四、〇七三平方メートル

公園 一、八五二平方メートル

民有地七七、六七八平方メートル

市有地 二、八九二平方メートル

その他 五平方メートル

合計一六、五〇〇平方メートル

○平均減歩率 約一四%

○事業の目的 本町は、豊栄市の中心市街地として栄えてきたが、町並は旧態依然とした現状であり、今後の発展は望めないものと思われ

これを打破するため、市庁舎の移転を含め、総合的な開発を行い、本市の商業及び行政の核としての位置づけを図る必要があります。

そのため、都市計画道路、公園、その他公共施設等の整備改善を図るとともに、本市の中枢部にかきわしい土地利用と近代的な都市機能を備えた中心市街地に改造しようとするものです。

なお、この土地区画整理事業は、道路をはじめ、生活

の自然的環境の保全及び都市的景観の向上を図ります。

なお、今後の予定として、本事業推進にあたり、関係住民の理解と協力を得るために、説明会を各地域ごとに開いたり、アンケートによる意識調査なども実施する方針です。

○公園計画等 ①市役所跡地は、児童公園のほか、市民総合文化センターなどの社会文化施設に転用し、市民の憩いの場とします。

②稲荷神社に隣接して、都市緑地公園を配置し、神社

物公園）を配置します。このショッピングモールは、クリエイションや買物道路として活用するとともに本町地区のイメージアップを図るものです。

また、ショッピングモールの代替道路として本町と常盤町の中間に商品等の搬入路としての区画道路を配置します。

④沿道宅地への交通路として街区ごとに区画道路を整

備します。

なお、この区画道路は良好な居住環境を維持するため、不必要な道路交通を排除します。

○公園計画等 ①市役所跡地は、児童公園のほか、市民総合文化センターなどの社会文化施設に転用し、市民の憩いの場とします。

②稲荷神社に隣接して、都市緑地公園を配置し、神社

物公園）を配置します。このショッピングモールは、クリエイションや買物道路として活用するとともに本町地区のイメージアップを図るものです。

また、ショッピングモールの代替道路として本町と常盤町の中間に商品等の搬入路としての区画道路を配置します。

④沿道宅地への交通路として街区ごとに区画道路を整

備します。

なお、この区画道路は良好な居住環境を維持するため、不必要な道路交通を排除します。

○公園計画等 ①市役所跡地は、児童公園のほか、市民総合文化センターなどの社会文化施設に転用し、市民の憩いの場とします。

②稲荷神社に隣接して、都市緑地公園を配置し、神社

物公園）を配置します。このショッピングモールは、クリエイションや買物道路として活用するとともに本町地区のイメージアップを図るものです。

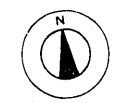
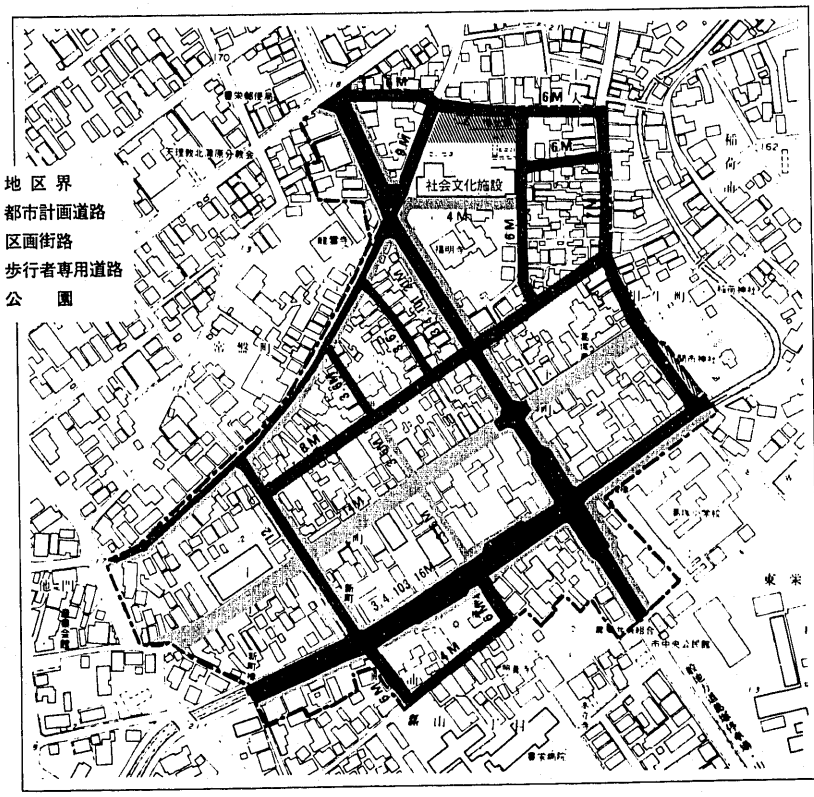
また、ショッピングモールの代替道路として本町と常盤町の中間に商品等の搬入路としての区画道路を配置します。

④沿道宅地への交通路として街区ごとに区画道路を整

備します。

昭和55年5月20日

### 設計図



- 地区界
- 都市計画道路
- 区画街路
- 歩行者専用道路
- 公園

説明に耳を傾ける関係住民  
—中央公民館で—

